

ED-005

環境経営レポート

2021年度

(2020年12月～2021年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2022年3月28日発行

1. 組織の概要

(1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役 佐竹昌史

(2) 所在地

本社
東京都立川市一番町 4-65-32
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

(3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(4) 事業規模

創立 1973年3月30日
法人設立 1974年11月30日
資本金 1,200万円
年商 600百万円
従業員 16人 (パート・非常勤も含む)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

特殊鋼の素材販売・加工販売、非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(2) レポート対象期間

2020年12月～2021年11月

(3) 活動レポート発行日

2022年3月28日発行

3. 環境経営方針

【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

【環境経営方針】

1. SDGsの目標設定

- ゴール5 ジェンダー平等
- ゴール7 エネルギー
- ゴール8 雇用
- ゴール12 持続可能な生産・消費
- ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を順守します。
4. クレーム削減を徹底します。
5. 3Sパトロールの実施と振り返り
6. 新人教育マニュアルの作成及び実施
7. 採用戦略の立案
8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

改定 2019年1月11日

制定 2015年2月2日

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役

佐竹 昌史

4. 環境経営目標

項目		基準年度実績	2023年度中期目標	2021年度目標
1	売上高	2014年度 100 %	2014年度比 145 %以上	2014年度比 150 %以上
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2018年度発生件数 19 件		発生件数 5 件以下
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2018年度不具合発生 物流センター 3件 加工センター 3件 調達課 0件 外注 1件		不具合発生 物流センター 4 件以下 加工センター 10 件以下 調達課 0 件以下 外注 0 件以下
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2014年度 79.6 t	(173.1 t)
		売上高排出量	2014年度 79.6 t/100	2014年度比 150 % 119.4 t/100
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度 820 kg	2017年度比 134.1 % 1,100 kg
		一般廃棄物	2017年度 1,915 kg	2017年度比 110 % 2,109 kg
6	紙使用量削減	使用量	2014年度 106 千枚	(146.0 t)
		売上高使用量	2014年度 106 千枚/100	2014年度比 95 % 100.9 千枚/100
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト			フィリピン市にマングローブ苗木を植林する

・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

5. 環境経営計画

(1) 環境負荷削減活動計画

項目		2021年度目標	2021年度活動計画
1	売上高	2014年度比 150 %以上	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 5 件以下	新入社員が多い為、以前の是正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 4 件以下 加工センター 10 件以下 調達課 0 件以下 外注 0 件以下	是正処置票の有効性の確認を徹底し、改善提案の取り組みを推進する。
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 (179.1 t)	
		売上高排出量 2014年度比 150 % 119.4 t/100	売り上げ原単位基準年比+50%以下で現状維持。
5	産業廃棄物	2017年度比 134.1 % 1,100 kg	生産高の確認をし、その時の廃油の量を対比して確認する。
	一般廃棄物	2017年度比 65.3 % 1,700 kg	リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施
6	紙使用量削減	使用量 (127.2 t)	売上原単位で、計測する。
		売上高使用量 2014年度比 80 % 84.9 千枚/100	加工センター新設した為、FAX枚数は0になる。
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客からの要求があった場合、対応する。
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト	フィリピン市にマングローブ苗木を植林する	

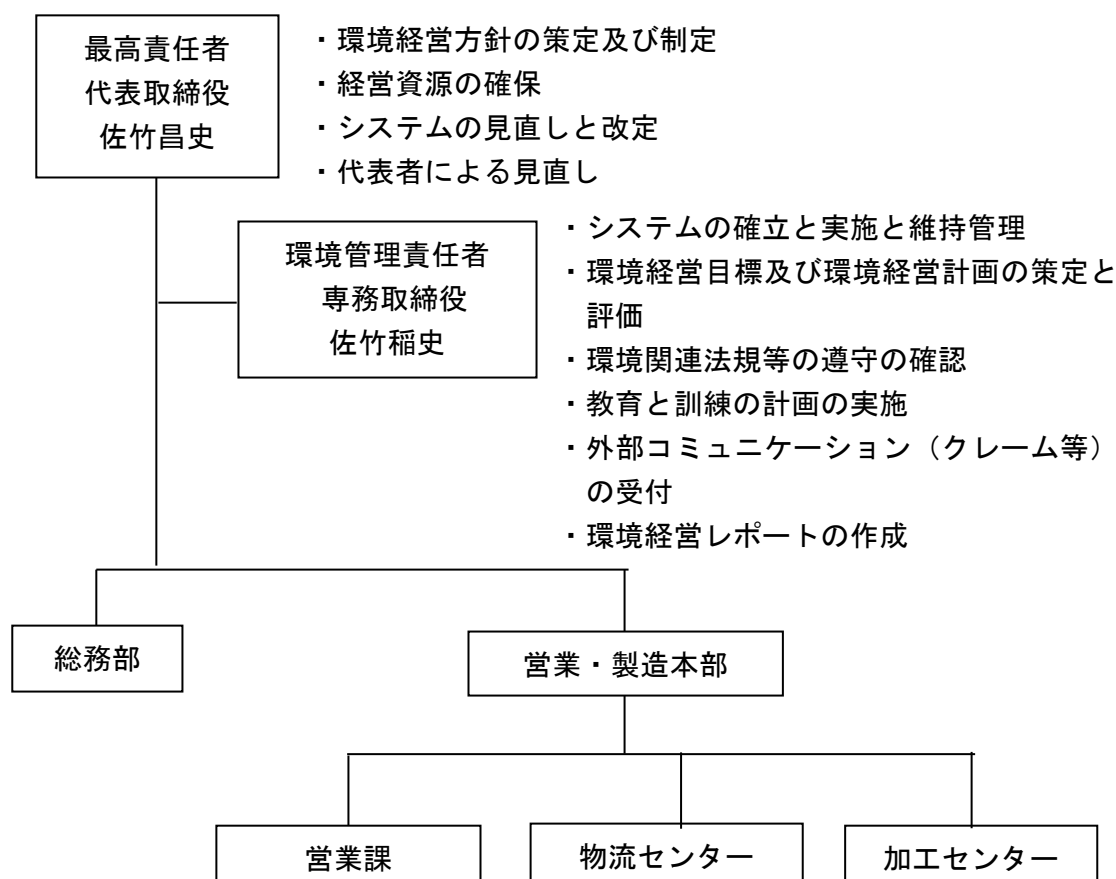
・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGs 活動計画

項目	SDGs 目標	2021年度 活動計画
1 ゴール5 ジェンダー平等	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進 立川市のライフワークバランス認定会社に応募する。 福利厚生にて、マインドフルネスの体験会の実施 Facebook、ホームページで会社情報発信
2 ゴール7 エネルギー	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	省エネ等のエネルギー効率の改善 エコアクション21による、環境目標を設定し、省エネルギーの為の具体策をたて、実施 (KD-006)
3 ゴール8 雇用	8 働きがいも 経済成長も 	雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進 公社の助成金に応募し、24h稼働可能な設備投資による残業時間短縮の実現 それぞれの課内での、個々の得意分野の勉強会実施
4 ゴール12 持続可能な生産・消費	12 つくる責任 つかう責任 	品質向上によるムダ、廃棄物の削減 是正処置票の是正内容について、各部署の会議の中で、深掘りし、責任者主導のもと、是正内容を課全体で周知する事
5 ゴール13 気候変動	13 気候変動に 具体的な対策を 	エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減 加工センターエアコンの適性温度設定、及び設定デマンドによる最大電力量の低減

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

● Eco Action 組織図



● 環境経営取組内容

・売上高について

2014 年度対比 150%以上の目標を掲げ、進めたが、結果は 140%と目標に対して未達となった。しかし、半導体業界の好調により売り上げは、これまでよりは大幅に増加させることが出来た。また、素材の高騰も売り上げ増に拍車をかける事になり、それが数字に大きく影響した。加工センターの新設に伴い、工作機械を増設し、展示会にも出展。コロナウィルスの影響もあり、来場者数は少なかったが、少しずつ新たな展示物の用意や雰囲気理解出来、次に繋げたい。

・顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

目標設定は、5 件以下とし、実績は 5 件となった。プレート業者の品質の問題があり、業者選定を行った。

・社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

2021 年度の目標を、2020 年度実績の物流センター5 件 加工センター21 件に対して、2020 年と同じく物流センター4 件以下、加工センター10 件以下と設定したが、結果は、物流センター4 件 加工センターは 14 件となった。物流センターは目標をクリアしたが、加工センターはヒューマンエラーを含め、作業者の入れ替えによる加工方法の徹底や、以前の是正処置票での周知徹底不足などで、目標未達になった。来期は、是正処置票の周知徹底で、来期の目標値を達成させる。

・紙使用量について

2021 年度の目標を、基準年度 2014 年度の売り上げ原単位 106,161 枚に対して 80%84,929 枚と設定したが、売り上げが 140%と大きくなり、実績は 64.2%の 68,103 枚と目標を大きくクリアした。

・産業廃棄物排出量について

2017 年度対比 134.1% 1100Kg を目標にしたが、実績 2,520Kg となり、229.1%と大幅増加となりました。要因は、工場に新設した工作機械の為に、全ての機械の廃油を抜いた事で、大幅な増加となったが、来期は通常の通りに戻る予定。

・二酸化炭素排出量について

2021 年度の目標は、売り上げ原単位で 2014 年度基準年に対して 150%と設定した。加工センター新設に伴う工作機械の増設による電力量は増加したが、売り上げも 140%と増加した為、二酸化炭素排出量は、121.2%で目標より低く抑える事が出来た。






7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

項目		2021年度目標	2021年度 実績と評価	
			実績	評価
1	売上高	2014年度比 150 %以上	140.0 %	目標未達成だが、付加価値の高い加工品の注文が増え、素材の金額も上がった為、売上増加となった。
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 5 件以下	5 件	年間を通して、プレート製品の品質の問題が多かった為、プレート業者選定を行った。
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 4 件以下 加工センター 10 件以下 調達課 0 件以下 外注 0 件以下	4 件 14 件 0 件 1 件	物流センター：2020年に引き続き、セルフチェック、検査漏れが多かった為、確認を強化する。 加工センター：作業者の入れ替わりが多く、社内加工における、加工方法が徹底されていなかった。
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 (179.1 t)	170.0 % 135.1 t	加工センター稼働率のUP、また、新機械導入の為、電力消費量が増えた。 目標はクリア。売上が増加し、電力使用量等抑えられた為、原単位での計算では、下がった。
		売上高排出量 2014年度比 150 % 119.4 t/100	121.2 % 96.5 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2017年度比 134.1 % 1,100 kg	131.6 % 2,520 kg	目標対比229.1%増。加工センターの、機械入れ替えにより、廃油が増加。 目標対比88.5%目標クリア。材料仕入時の梱包適正化、リサイクル分別が徹底されている。
		一般廃棄物 2017年度比 65.3 % 1,700 kg	78.6 % 1,505 kg	
6	紙使用量削減	使用量 (127.2 t)	74.8 % 95 千枚	ミルシートや品質データをメールにて受け取る事で、ペーパーレスに努めた為、減少。
		売上高使用量 2014年度比 80 % 84.9 千枚/100	64.2 % 88 千枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応		
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト	フィリピン市にマングローブ苗木を植林する		

・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

(2) SDGsの取組実績






項目	SDGsゴール	2021年度実績
1 ゴール5 ジェンダー平等	 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	認定をいただき、2022年度発表するマインドフルネスの講習実施 適宜 フェイスブック及びホームページの更新
2 ゴール7 エネルギー	 省エネ等のエネルギー効率の改善	環境負荷の数値に関しては、毎月の品質・環境会議で発表し、周知徹底し、社員全員に省エネの意識を高めている
3 ゴール8 雇用	 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	2022年12月に工作機械が導入。 再製作の時間や捻出されるエネルギーの削減の必要性を各部署で教育した
4 ゴール12 持続可能な生産・消費	 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	不良品に対する無駄をなくす事で、新たな素材購入
5 ゴール13 気候変動	 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	適性温度を確認し、設定済み デマンドを付け、最大電力量を管理

(3) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目		2023年度中期目標	2022年度目標	2022年度活動計画
1	売上高	2014年度比 145 %以上	2014年度比 150 %以上	新規導入した工作機械を含めた工場見学や展示会への積極的な出展で、深耕営業及び新規営業に注力する。
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減		発生件数 5件以下	クレーム内容を深掘りし、適切な是正処置を行い周知徹底させる。
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 0件以下	賃金システムを今年から導入し、改善提案を積極的に行う風土をつくる。
	二酸化炭素排出量の削減	排出量 (173.1 t) 2014年度比 150 % 119.4 t/100	(179.1 t) 2014年度比 150 % 119.4 t/100	売り上げ原単位基準年比+50%以下で現状維持。
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2017年度比 134.1 % 1,100 kg 一般廃棄物 2017年度比 110.1 % 2,109 kg	2017年度比 134.15 % 1,100 kg 2017年度比 88.8 % 1,700 kg	今年は、廃油で目標値を上回る予定がない為、昨年同等の目標値とする。 過剰梱包の業者への依頼。 リサイクル分別の推進。
	紙使用量の削減	使用量 (146.0 千枚) 2014年度比 95 % 100.7 千枚/100	(119.3 千枚) 2014年度比 75 % 79.5 千枚/100	売上原単位で、計測する。 ペーパーレスの更なる推進。
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	顧客からの要求があった場合、対応する。
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト		フィリピン市にマングローブ苗木を植林する	

・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

(4) 次年度のSDGs活動計画

項目	SDGsゴール	2022年度 活動計画
1 ゴール5 ジェンダー平等	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進
2 ゴール7 エネルギー	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	省エネ等のエネルギー効率の改善
3 ゴール8 雇用	 8 働きがいも 経済成長も	雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進
4 ゴール12 持続可能な生産・消費	 12 つくる責任 つかう責任	品質向上によるムダ、廃棄物の削減
5 ゴール13 気候変動	 13 気候変動に 具体的な対策を	エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、

訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2021年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2021年度の目的目標達成状況については、2月に確認した。2022年度の電力、ガソリン、軽油、紙の使用量については、売り上げ増加を見越して、数値目標の設定をする事。

加工センターに人員の増員、工作機械の増設を踏まえ、電力使用量のUPを考え、また、環境の変化を予想しながら、数値目標を立てる事。

SDGsの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているの、周知徹底及び、全員で目標達成の事。

(2022年2月8日)

- ・次期環境経営レポートは、2023年3月発行予定。